

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年02月04日

計画の名称	宇美町における快適な生活環境の整備（防災・安全）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	宇美町													
計画の目標	ストックマネジメント計画を策定することにより、下水道施設の健全度を計り、維持管理・改築・修繕の最適化を図り、計画的に改築を実施する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		46	A	46	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	・平成29年度策定したストックマネジメント計画により管理している管渠149,417mを各年度調査を実施し、令和4年度までに、調査実施率43%を目標とする。 下水道施設のストックマネジメント計画における調査実施率（%） =（調査実施管渠延長（m）） / （ストックマネジメント計画管渠延長（m））	0%	%	43%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	宇美町	直接	宇美町	-	改築	ストックマネジメント計 画策定	ストックマネジメント計画策 定 マンホール点検1,269箇 所 調査管路延長24,111m	宇美町						15		策定済		
		ストックマネジメント																			
	A07-002	下水道	一般	宇美町	直接	宇美町	-	改築	管路施設点検・調査	管路施設点検・調査 マンホ ール点検1,320箇所 調査管 路延長 = 40,910m	宇美町						31		策定済		
		ストックマネジメント																			
											小計						46				
											合計						46				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
平成30年度から令和4年度の結果について評価を行った。	令和6年12月
	公表の方法
	宇美町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメントについて、施設（管路）の目視による点検調査及び、TVカメラ調査を実施した。調査の結果から重大な損傷は見当たらず、健全度は比較的高い状況にあり、改築更新計画の策定には至っていないため、維持補修のみを実施した。評価指標である下水道施設のストックマネジメント計画における調査実施率は、目標値43.0%に対し、実績値では43.3%であり目標を達成できたと思慮する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
点検調査の結果から、施設の健全度は比較的高いものの、民間開発団地の施設には、不具合箇所が散見され、維持補修の実施は不可欠である。今後もストックマネジメント計画に基づき計画的な点検調査の実施による施設管理を行い、維持補修費用及び、改築更新需要等の平準化を行いながら、経営の安定化を図り、更なる効率化に努める必要がある。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	43%
	最終実績値	43%